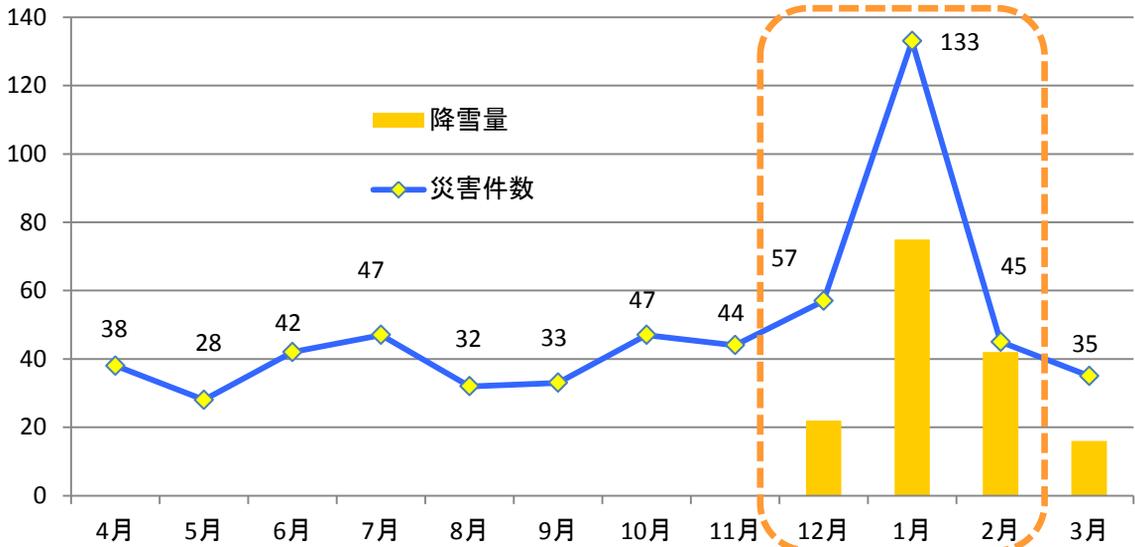




平成28年度の通勤災害の発生状況

<福島県では毎年500件以上の通勤災害が発生>



平成28年度の通勤災害の発生件数は581件で、年度当初からは毎月おおむね30件から50件で推移しています。しかし、寒冷期に入ると12月に50件を超え、1月には133件もの通勤災害が発生しています。

平成28年度の県内の天候をみますと、都市部の降雪量は1月に増加しており、降雪量の増加に伴い、通勤災害の発生件数も増加していることがわかります。

また、2月には一定の降雪量があるにもかかわらず、通勤災害の発生件数が減少しているのは、通勤される方が雪道や凍結した路面で転倒などをしないように対策を講じたことや、滑りやすい路面の通勤に慣れたことが一つの要因だと考えられます。

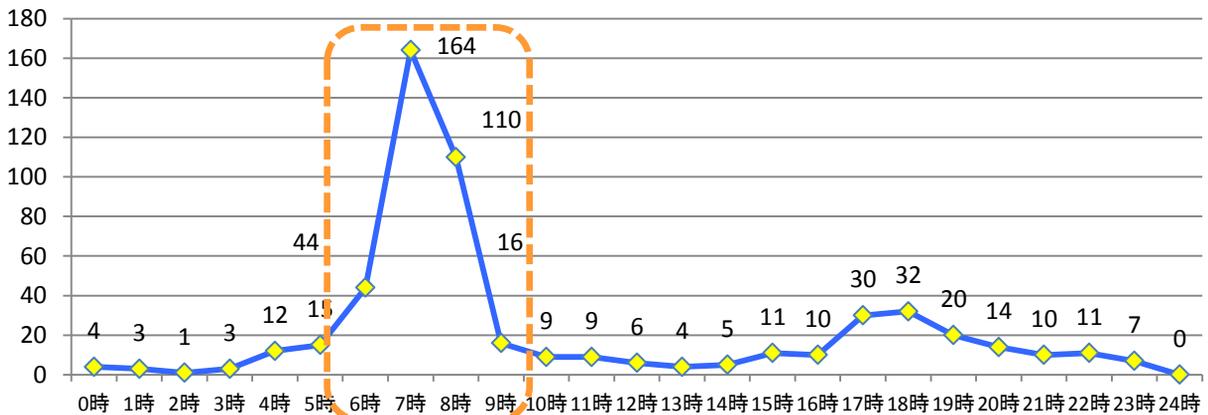
- 雪が降り始めた時期の通勤は特に注意が必要です ●

労災保険では、自宅から職場への出勤中や、職場から自宅への退勤中の災害を「通勤災害」として労災補償（治療のために必要な給付、賃金を受けられない場合の給付、後遺症が残った場合の給付など）の対象としています。詳しくは労働基準監督署もしくは福島労働局へお問い合わせください。



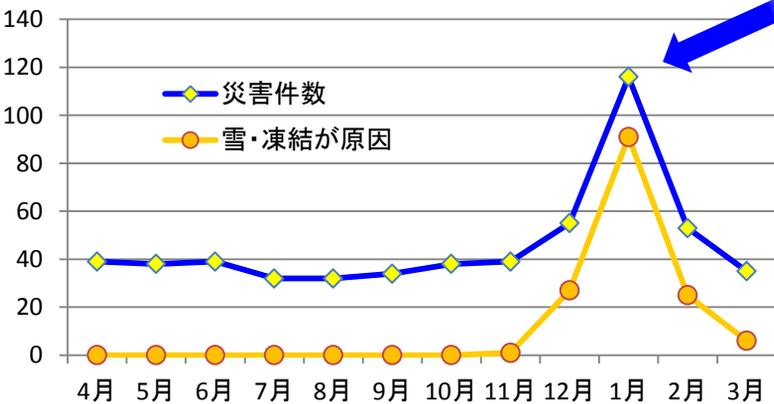
平成27年度の福島県の通勤災害の状況

通勤災害の70%以上は**出勤中**の朝6時から9時の時間帯に発生しています。

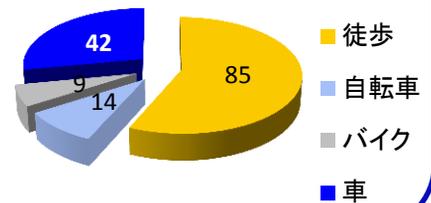


通勤災害は12月から2月の間に最も多く発生しています。

12月～2月の間は60%以上が
雪・凍結が原因



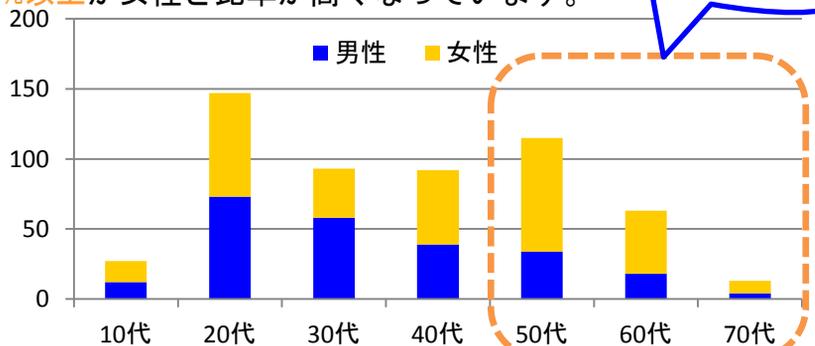
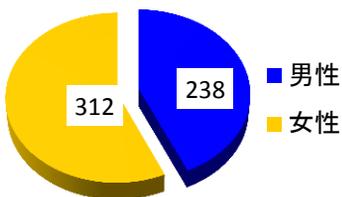
「雪・凍結」を原因とする災害
では「徒歩」による通勤中の災害
が最も多くなっています。



被災された方の半数以上が**女性**となっています。
特に**50代以降**では被災者の**70%以上**が女性と比率が高くなっています。

女性の比率が高い

被災者の性別



安全な通勤のために注意するポイント

- 朝の出勤時にはゆとりをもって出勤できるように心がけましょう。
- 寒冷期に「徒歩」で通勤される際は、滑りにくい靴を履き、足元には十分気をつけましょう。
- 寒冷期には、路面が凍結などによってブレーキが効きにくい場合もありますので、路面の状態などに注意し、より安全な運転を心がけましょう。